

令和8年度 国立日高青少年自然の家の川・沢活動について

国立日高青少年自然の家

国立日高青少年自然の家では、安全かつ教育効果の高い活動を実現するため、川・沢活動の実施ルールを定めています。引率者の皆様におかれましては、下記の事項を確認し、児童・生徒の安全管理の徹底をお願いいたします。

1. 【重要】今年度からの変更点

・職員の指導：**自然の家職員が指導者として同行します。**

参加者 60 名あたり1名の指導者がつきます。

引率者も安全管理、活動サポート、実技のフォローをお願いします。

・事前の対応：活動を実施する団体の引率者は、以下のいずれかが必須となります。

①「安全に川・沢活動を実施するための事前講習会」の参加

②団体による事前の「**実地踏査**」の実施（活動当日の実施は不可）

※昨年度参加(実施)された場合でも、毎年川・沢の状況は異なりますので、毎年参加をお願いしております。

※いずれの対応も難しい場合には、民間ガイドの紹介が可能です。ご相談ください。

・実施場所：ボディラフティングの実施場所は、「沙流川本流」となります。

2. 「安全に川・沢活動を実施するための事前講習会」について

「**開催要項**」をご確認ください。

3. 実地踏査について

日時は事前に御相談ください。団体の利用状況により希望に添えない場合がございます。

(当日の実施は不可)

職員と注意事項を確認したのち、団体で実際に沢登り・ボディラフティングを実施してください。

(職員の同行はありません。)

時間の目安は、説明等も含め、2時間程度です。

安全管理の観点から2名以上での実施をお願いいたします。

4. 各アクティビティについて

	沢のぼり	ボディラフティング
服装・ 装備	ヘルメット、ライフジャケット 運動靴、長そで、長ズボン、 靴下(くるぶしが隠れる丈のもの)、軍手 ※マリンシューズではなく、運動靴を準備するように連絡をお願いします。 ※ 装備不足の場合は、実施ができません。	
実施場所	サンゴの沢 コースが複数あります。 アクティビティ集をご確認ください。	沙流川の本流

引率者の役割	必ず沢に入り、全体の人数確認や安全管理、活動のサポート、実技のフォロー (1人が見る人数は、30名程度を基準とします) ※最後尾は、講習会に参加または実地踏査を行った方を配置してください。 ※1名は、林道を並走。(装備不要)	必ず川に入り、全体の人数確認や安全管理、活動のサポート、実技のフォロー ※川下には、講習会に参加または実地踏査を行った方を配置してください。 ※1名は、中州から全体の安全管理。(装備必要)
見学者・カメラマン等	林道からの見学・撮影は可能(装備不要) 沢のギリギリまで近づく場合には、装備(ヘルメット、ライフジャケット)が必須です。 (プログラム体験料が必要)	橋上からの見学・撮影は可能(装備不要) 川原に降りる場合は、事故防止のため、装備(ヘルメット、ライフジャケット)が必須です。 (プログラム体験料が必要)
費用	プログラム体験料 1人1回あたり 50円 ※事前講習会、実地踏査の際は、無料。 ※沢のぼりとボディラフティングの両方実施の場合、合計で50円となります。	プログラム体験料 1人1回あたり 50円
実施基準	<p>自然の家実施可否基準に掲げる事項が発生し、活動の実施や継続が困難と判断された場合は中止となります。</p> <p>ア： 沢の水が濁っている場合(沢のぼりのみ)</p> <p>イ： 大雨、洪水、暴風の各警報が発令されている場合または、雷が確認された場合</p> <p>ウ： 気温または水温が低い場合(目安：気温 20℃、水温 15℃)</p> <p>エ： 水量が多い、または流速が増している場合</p> <p>オ： 上記以外でも、自然の家所長が危険と判断した場合</p> <p>※川活動では、濁水により、実施が中止となる場合があります。</p>	
提出物	「川・沢のぼり活動計画書」を活動の1週間前までにご提出ください。	

5. その他

- ・事前に「沢のぼり授業 準備編」の YouTube 動画を参加者全員が視聴してください。
- ・各アクティビティについては、「[アクティビティ集・服装イラスト](#)」も併せてご確認ください。
- ・複数団体が同時に実施する場合、一緒に活動を行う場合がございます。